

令和8年度
第2回 台東区区政サポーター
アンケート調査 報告書

「こどもの権利について」

「食品ロス削減について」

「区議会だよりについて」

台東区 総務部 広報課

令和8年度 第2回 台東区区政サポーターアンケート

区政サポーターとは

資 格：公募による区内在住の中学生以上の方
活動内容：区政に関するアンケートを郵便または電子メールで回答する。
任 期：2年（令和7年4月1日～令和9年3月31日）

目 的

区政サポーターの方に区の課題となっている「施策や事業に関するアンケート」に回答していただくことによって、区政への参加を図ります。また、アンケート結果は区民の貴重なご意見として、今後の区政運営の資料といたします。

内 容

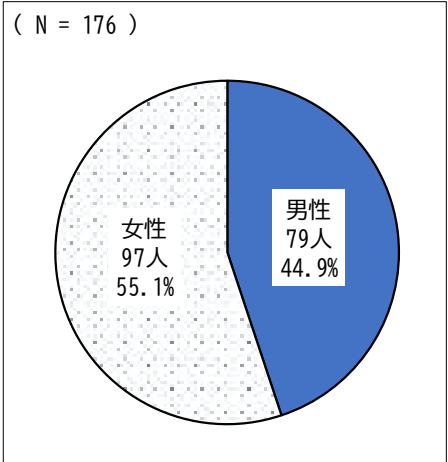
- (1) こどもの権利について
- (2) 食品ロス削減について
- (3) 区議会だよりについて

調査概要

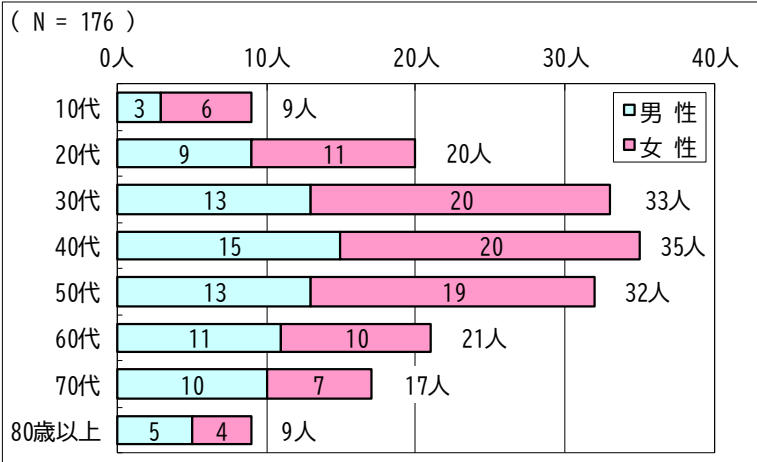
調 査 期 間 令和8年7月3日（金）～7月16日（木）
対 象 区政サポーター200名（郵便によるサポーター29名、Eメールサポーター171名）
有効回収数 176名（郵便27名、Eメール149名） 有効回収率88.0%

回答者の属性

性別



年代別



地区別（区民事務所・分室・地区センター）

地 区	竹町	東上野	上野	入谷	金杉	谷中
男 性	4人	5人	3人	12人	9人	3人
女 性	5人	3人	4人	8人	8人	7人
計	9人	8人	7人	20人	17人	10人
地 区	浅草橋	浅草寿	雷門	馬道	清川	合計
男 性	3人	10人	14人	8人	8人	79人
女 性	14人	14人	9人	13人	12人	97人
計	17人	24人	23人	21人	20人	176人

職業別

職 業	自営業・ 個人事業主等	会社員・ 公務員等	主婦(夫)	学生	無職	その他	合計
人 数	21人	94人	22人	12人	16人	11人	176人

目 次

I 調査結果の分析

「こどもの権利について」・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

「食品ロス削減について」・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

「区議会だよりについて」・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

II アンケート質問と回答・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24

報告書の表記について

- (1) 回答の構成比率(%)はすべて百分比で表し、小数点第2位を四捨五入しています。そのため、百分比の合計が100%に満たない、または上回ることがあります。
- (2) 基数となるべき実数は、Nで表しています。
Nは、回答者総数または該当設問の該当者数です。
- (3) 複数回答の設問は、各選択肢を1つだけでなく、2つ以上選択するため、各選択肢の合計数字が100%を超える場合があります。
- (4) 自由意見は、文字制限がある為、要約して掲載する場合があります。

※この報告書は、区のホームページ <https://www.city.taito.lg.jp/> に掲載しています。
(トップページ>区民の声>台東区区政サポーター)

I 調査結果の分析

【こどもの権利について】

今回の調査では、約8割の方が「こどもの権利」について聞いたことがあると回答している一方、約5割の方が内容についてあまり知らないと回答していることから、理解促進に向けた取組が必要であることが分かりました。

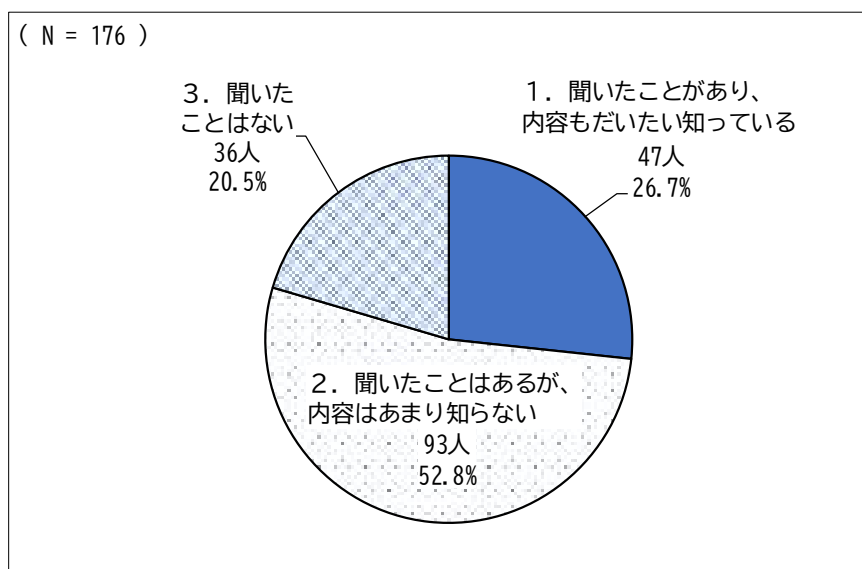
日々の実感としては、暴力等から「守られる権利」が守られていないと感じている方が多く、施策面では、「虐待、体罰、いじめ等の防止」や「こどもを犯罪や事故その他の危害から守るための取組」等が求められていることが分かりました。

加えて、こどもに関する施策の推進にあたっては、当事者である「こどもの意見」を聴くことが重要と回答した方が多くみられました。

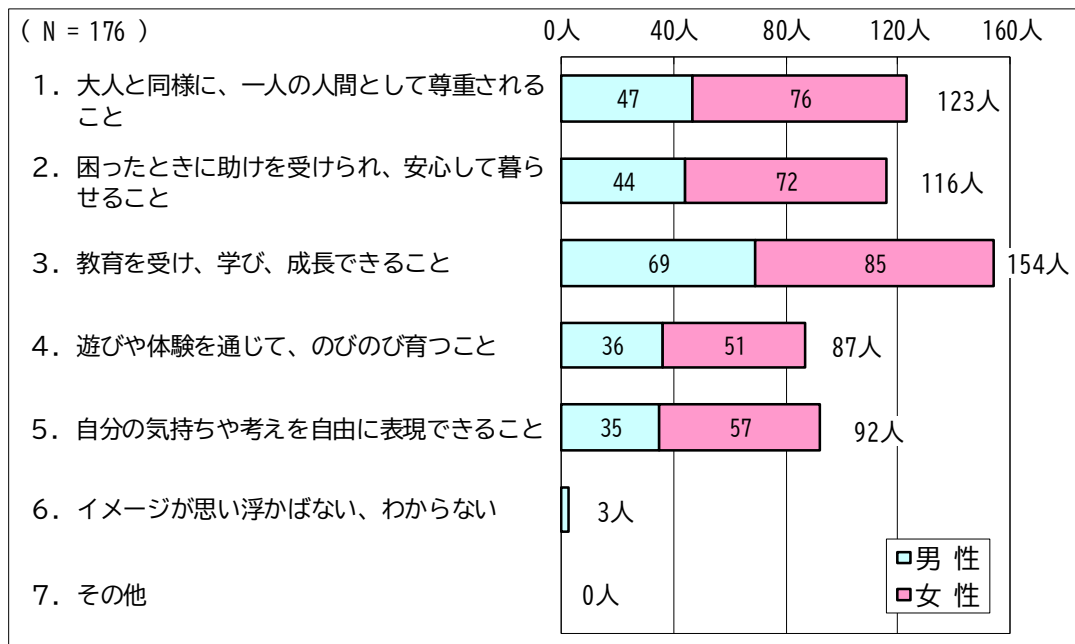
今後は、調査結果を踏まえ、「こどもまんなか社会」の実現に向けて、「こどもの権利」に関する普及啓発を図るとともに、こどもの意見を聴く機会の確保に努め、施策を推進してまいります。

(こども家庭部 こども政策課)

設問1：こどもは、生まれたときから幸せに健やかに育つために必要な「こどもの権利」を持っています。令和5年4月に施行された「こども基本法」においても、全てのこどもは個人として尊重され、その基本的人権が保障されると示されています。あなたは「こどもの権利」について聞いたことがありますか。



設問2：「こどもの権利」と聞いて、思い浮かべるイメージに近いものはどれですか。
(複数回答可)

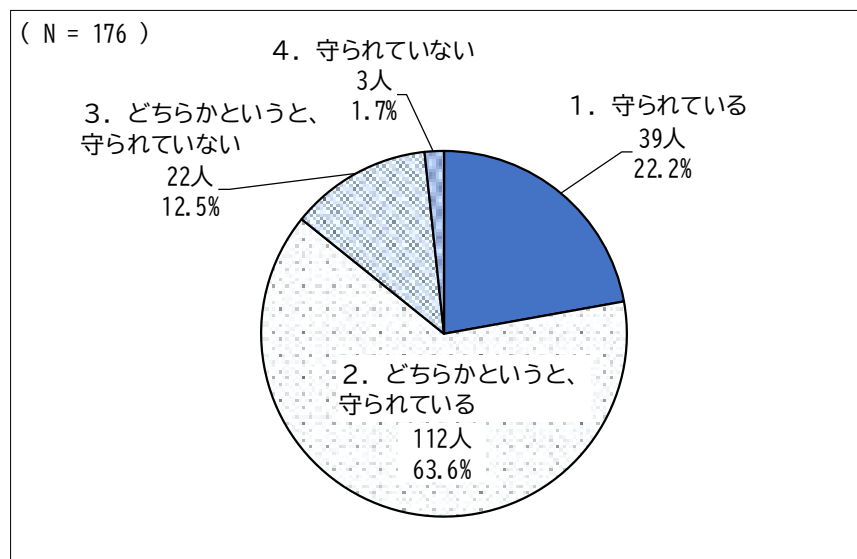


設問3：1989年に国連で採択された「子どもの権利条約」では、以下の4つの権利(※)が柱として掲げられています。

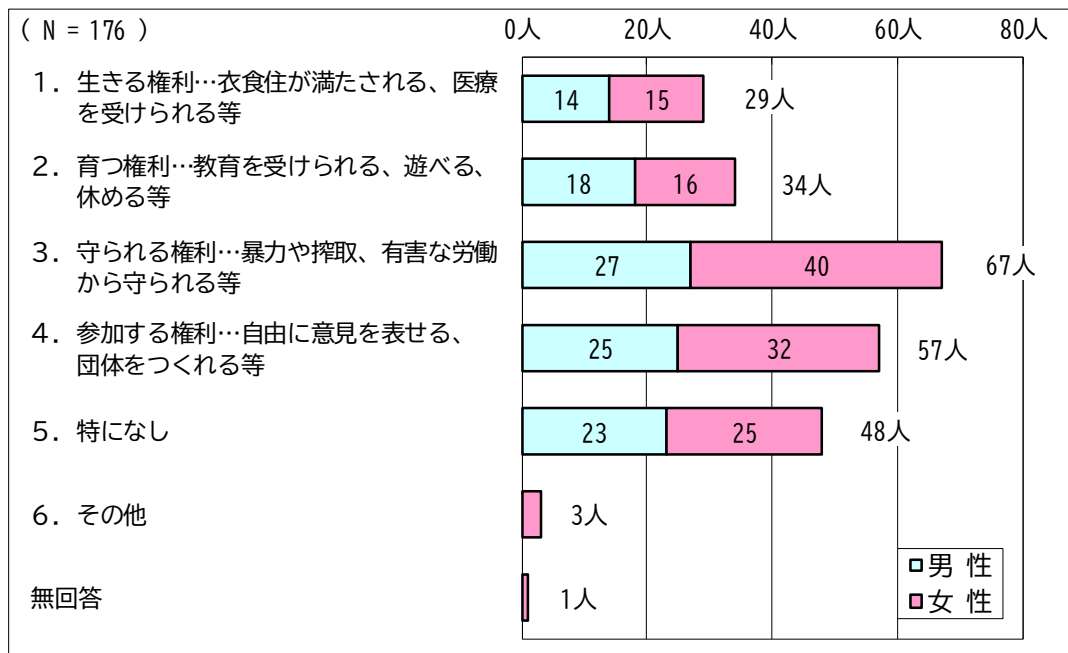
あなたは、これらの「こどもの権利」が日々の暮らしの中で守られていると感じますか。

(※) 4つの権利

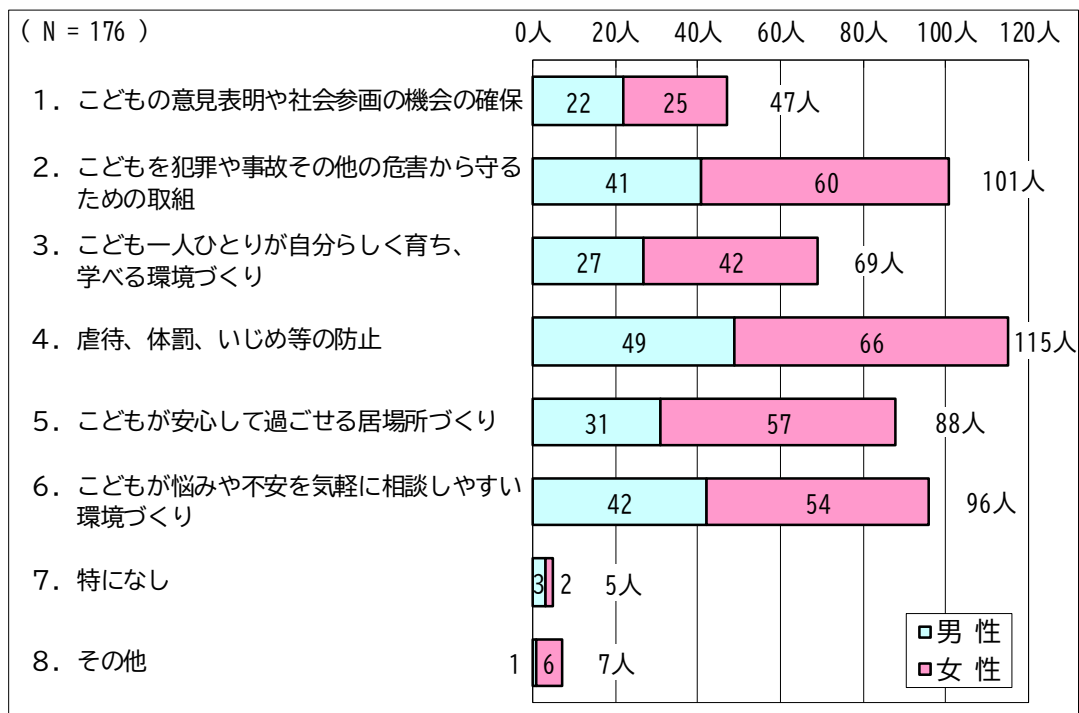
- ・ 生きる権利…衣食住が満たされる、医療を受けられる等
- ・ 育つ権利…教育を受けられる、遊べる、休める等
- ・ 守られる権利…暴力や搾取、有害な労働から守られる等
- ・ 参加する権利…自由に意見を表せる、団体をつくれる等



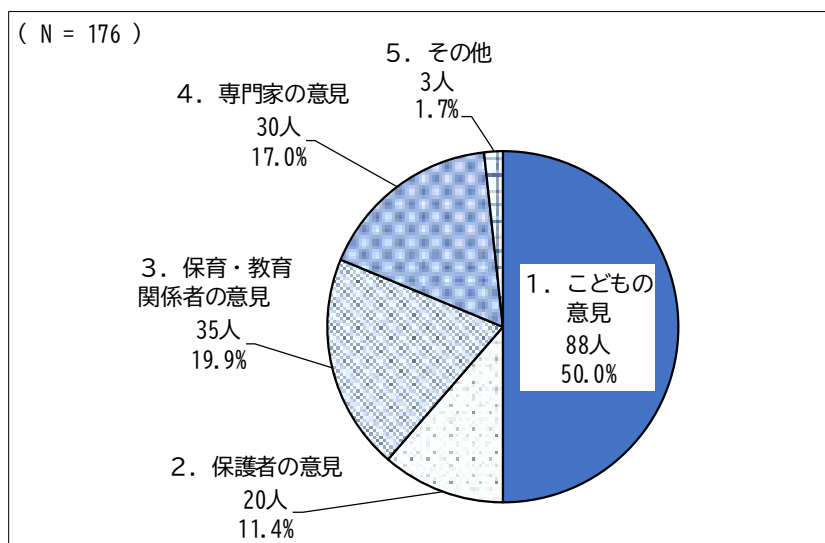
設問4：日々の暮らしの中で、守られていないと感じる「こどもの権利」はどれですか。
(複数回答可)



設問5：「こどもの権利」を守るために、区はどのような施策に重点的に取り組むべきだと思いますか。(複数回答可)



設問6：区が「こどもの権利」を守るための施策を推進するうえで、参考とすべき意見について、特に重要だと思うものはどれですか。



設問7：区では、全てのこどもがいきいきと自分らしく、安心して暮らすことができる地域社会の実現を目指して、「こどもの権利」を守るための条例づくりに取り組んでいます。

「こどもの権利」の普及啓発や条例づくりについて、ご意見等がありましたらご記入ください。

(主なご意見)

- ・親の虐待等のニュースをみると心が痛む。こどもが健やかに育つことができるような、こどもが自分の気持ちを話せる相談場所があると良い。
- ・恥ずかしながら私自身知らなかったため、学びを深めたいと思う。また、他方で区民への告知方法についても再考し、進めるのも良いのではないか。
- ・小学校低学年くらいのこどもで、朝元気のないこどもを多く見かける。学校に行きたくないのか、本当に笑顔のこどもが少ない。
- ・こどもの権利を守る施策の実行の際には、同時にこどもにも守るべき規律や道徳、社会のマナーを認識させていくことも忘れないでほしい。
- ・家庭により差も出てくる問題だとは思いますが、全てのこどもが安心して毎日を過ごせることを願う。区からの働きかけ（こどもや保護者へのアンケート、話せる場所作りなど）によって変わることも多いかと思うが、お願いしたい。
- ・こどもの見守りや育成は学校、家庭だけでは難しく、地域や地区ごとのイベントや家庭訪問による参加型が必須と考える。こどもの成長を見守り、育成支援が行政中心で進められることが重要である。昭和時代はこども会が町内会にあった。こどもたちに意見を聴く条例を検討してほしい。
- ・保育・教育関係者の方が一番身近に今のこどもたちの様子や実態に日々触れていると考える。推進の際にはぜひ先生方のご意見を重要視していただきたいが、こどもたちの意見もぜひ聞いていただきたい。
- ・こどもの意見が一番大事である。しかし、こどもは想像以上に親や周りの顔色をうかがうため、選択肢を提示する際は、メリット・デメリットを伝えながら、丁寧に進める必要があると考える。
- ・こどもの権利、意見を尊重するのは大切だが、正しい意味での「叱る」ことも広義でのこどもの権利を守ることに繋がると思う。

- ・子どもそれぞれに発達の特徴があり、個々に自分らしさを尊重できる環境づくりを目指してほしい。その先に子どもたちが自分の長けている能力に気づき、仕事などに結びつけられるような仕組みづくりが必要だと思う。
- ・子ども一人ひとりが自分らしく育ち、学べる環境作りが重要だと思う。選択肢と機会により、様々な体験をさせることが必要だと思う。
- ・子どもの権利侵害を予防するには、親を含め子育てから考えることが必要。子どもには相談しやすい場所や変化に気づく人が傍にすることが大切。発達の問題も含め、保育、教育、医療、保健、福祉機関などの連携強化が普及啓発に欠かせないと思う。
- ・子ども自身が子どもの権利を知ることが必要だと思う。学校や児童館などのいろいろな場所で子どもの権利に触れる、知る機会があると良い。
- ・チャレンジや失敗、他人に迷惑をかけてしまうこと等をおそれないように、こどものやりたいこと、自己実現のために背中を押してあげる内容にしてほしい。
- ・自由に意見を伝えられる場は少ないように思う。自発的な子どもばかりではないため、どんな子でも自分の思いを伝えやすい環境作りがあれば良いと感じた。
- ・条例作りのため、子どもが参加できるワークショップがあることは認知している。ただ、回数が2回となっており、限られた人数しか参加することができないと感じる。これからも定期的の実施してほしい。
- ・ヤングケアラーの存在感が増しているが、親以外の「大人」とつながる機会が少なく感じる。親・学校以外のコミュニティに自然と入り込めて、様々な価値観に触れる機会をつくるべきである。
- ・子どもは大人の想像以上に考える力があるので、子ども達に発信してもらうのも良いと思う。子どもの言葉は刺さる大人も多いと思う。
- ・様々な子どもがいる中、一人ひとりが意見表明をし、差別なく暮らせる社会を作ること。外国ルーツの子どもや障害がある子どもが同じように生活できる社会を作ること。何が一番必要なのかを考えられる社会を作ること。
- ・子どもは敏感に周りの状況を判断したり、気を遣った言動をしたりすることが大人の想定以上にあると思う。言葉が話せるようになれば自分の意思を伝えられるため、周りの人間はよく話を聞く耳を持って対応すべきである。
- ・親にかえって相談しにくいという家庭もあるかと思う。相談できる第三者がいると良い。

【食品ロス削減について】

今回の調査では、多くの区民が食品ロス削減のために具体的な取り組みを実践していることがわかりました。

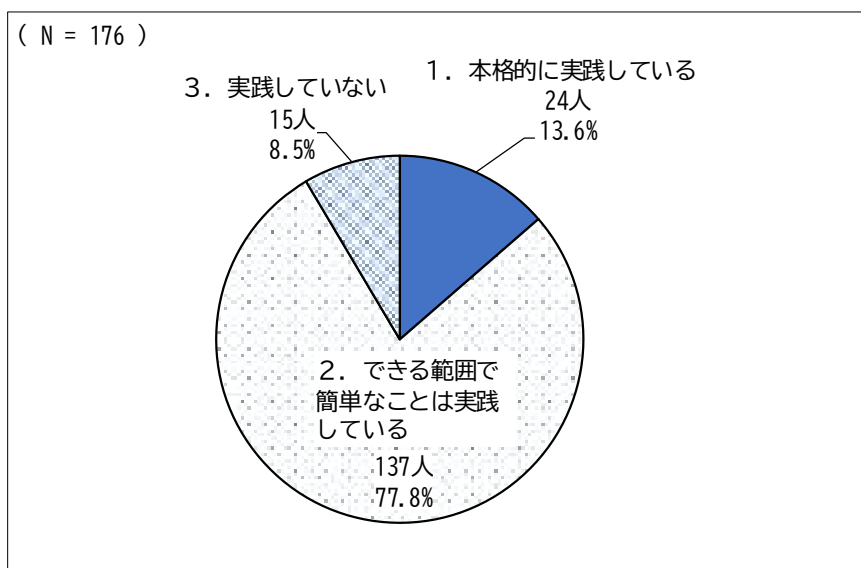
食品ロス削減に向け、「スーパーや飲食店等で『食べきり』を呼びかけるポスター掲示や啓発活動」や、「子供たちが食品ロスについて学ぶ機会や教材等の提供」など、食品ロスを「発生させない」取り組みが必要であることがわかりました。また、「フードドライブの実施・充実」や「食べ残した料理を持ち帰る」など、「食品ロスになりそうなものをどう減らすか」という視点での回答も多くいただきました。

今回の結果やご意見を参考にして、事業所とも連携し更なる食品ロス削減を進めてまいります。

(環境清掃部 清掃リサイクル課)

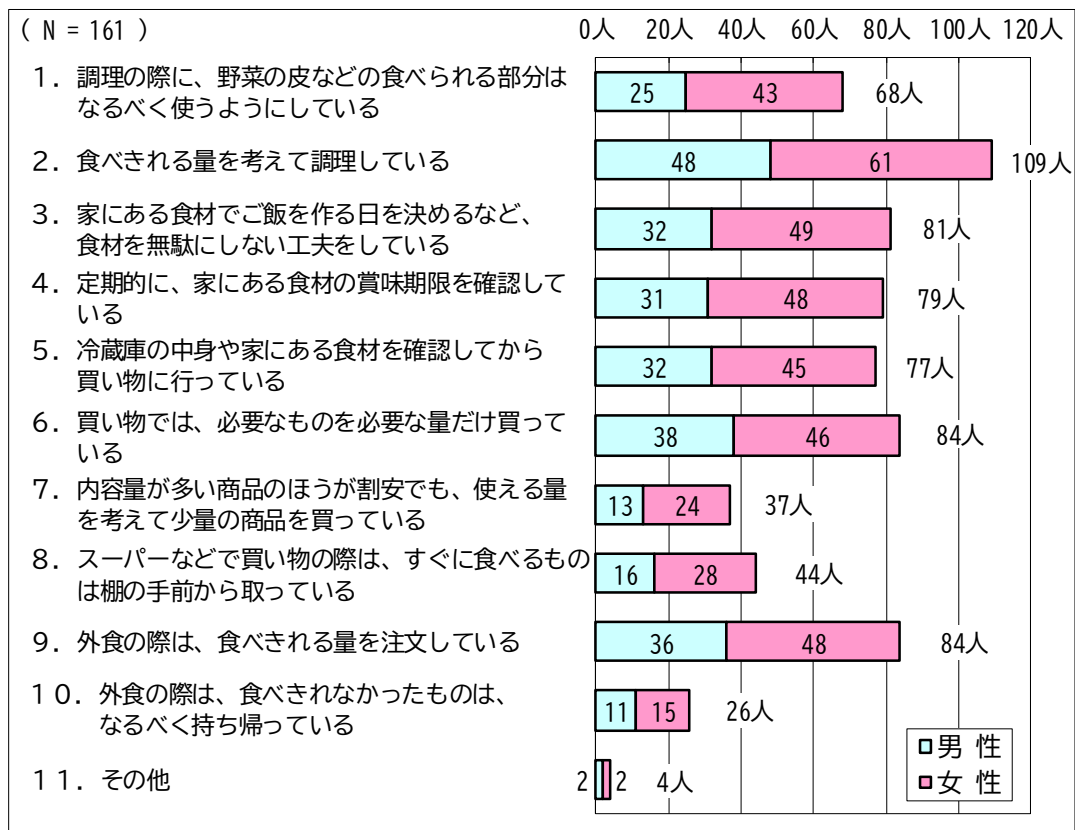
設問8：「食品ロス」とは「まだ食べられるのに捨てられてしまう食品」のことです。日本では、年間464万トンもの食品ロスが発生しています。また、その約半分は家庭からの排出と推定されています。

あなたは食品ロス削減のための取り組みをしていますか。

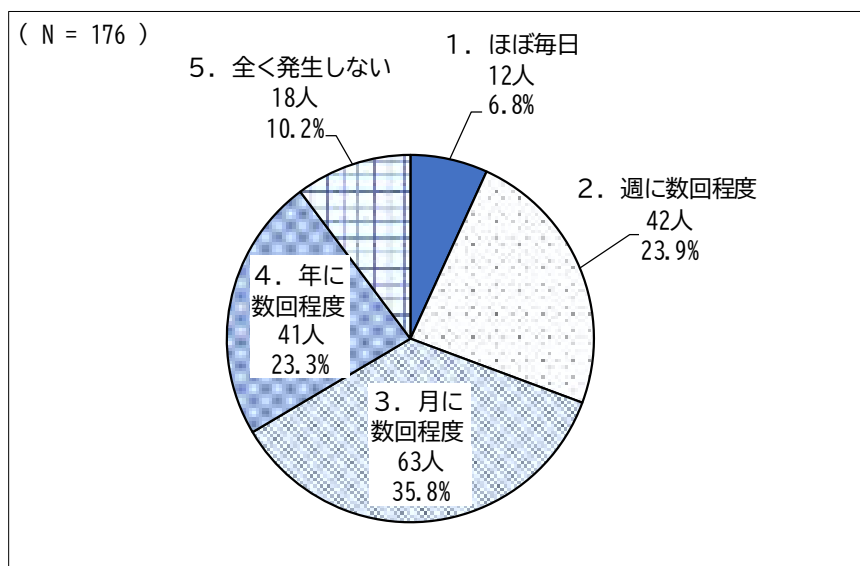


設問9：設問8で選択肢1、2を選択した方にお伺いします。

食品ロス削減のために、どのようなことを実践していますか。（複数回答可）

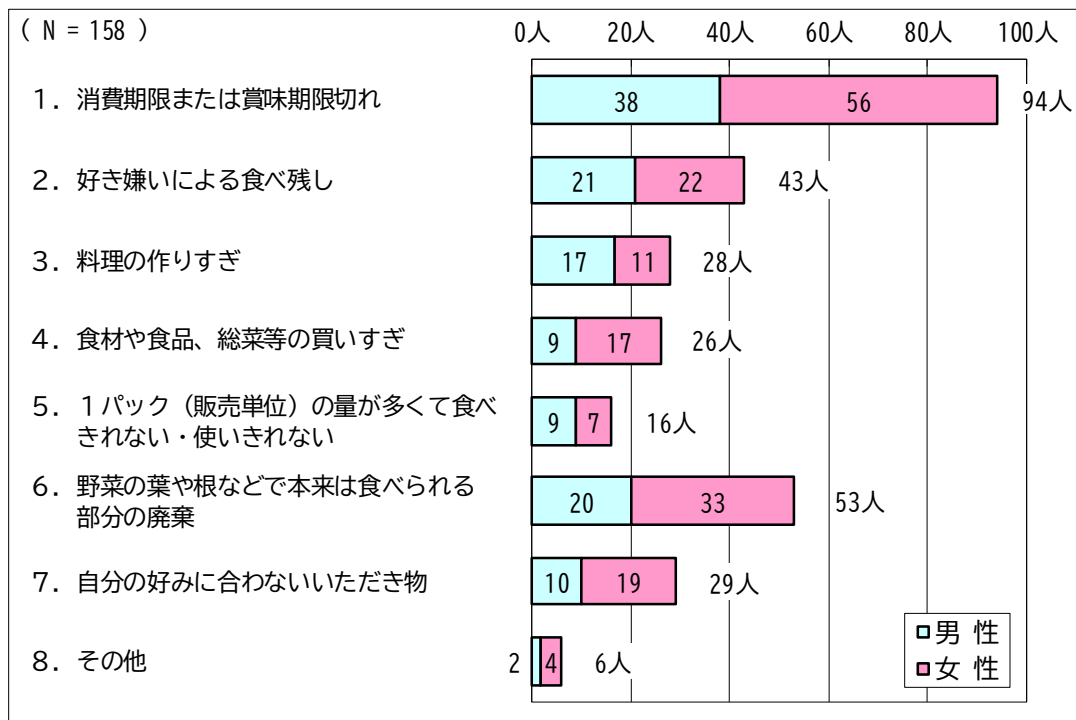


設問10：あなたのご家庭では、どのくらいの頻度で食品ロスが発生していますか。



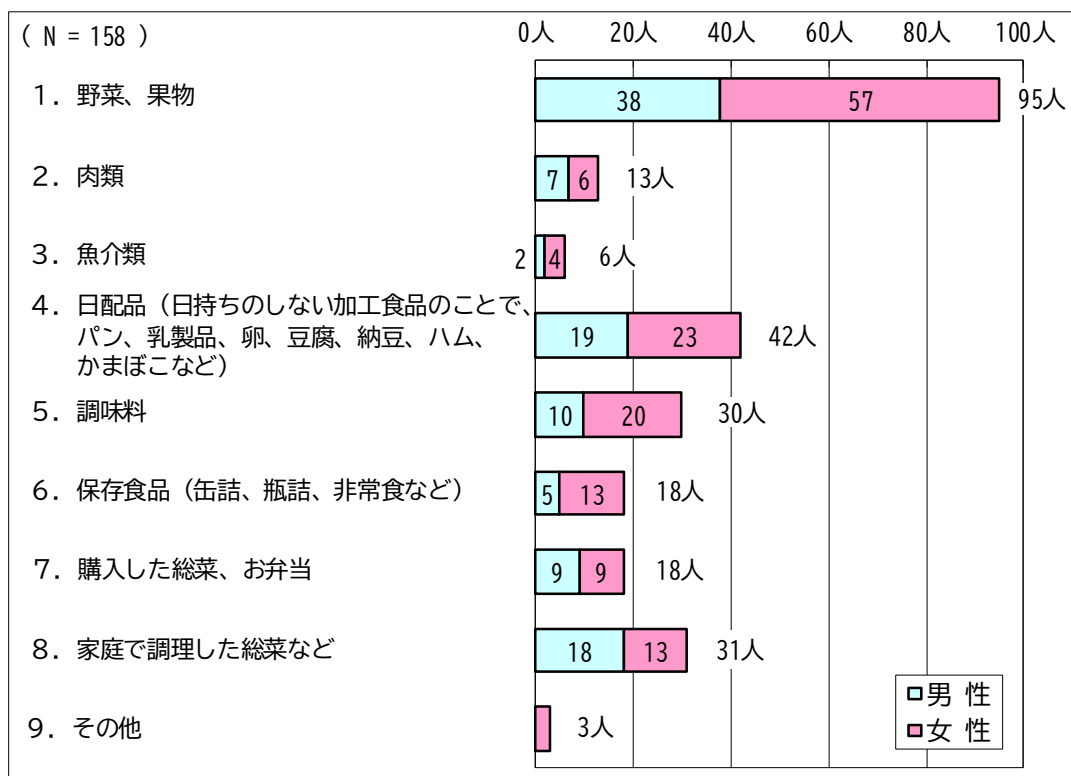
設問11：設問10で選択肢1～4を選択した方にお伺いします。

あなたのご家庭では、どのような理由で食品ロスが発生しますか。（複数回答可）



設問12：設問10で選択肢1～4を選択した方にお伺いします。

あなたのご家庭で、処分（廃棄）することが多い食品はどのような種類ですか。（複数回答可）

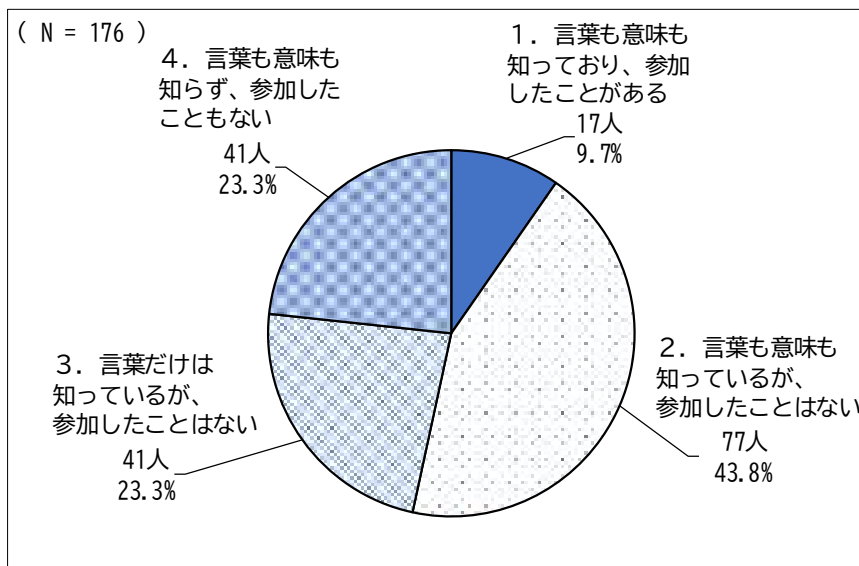


設問13：フードドライブとは、各家庭で使いきれない未使用食品を持ち寄り、それらをまとめてフードバンク（※）団体や、地域の福祉施設・団体などに寄贈する活動と言います。

あなたはフードドライブについて知っていましたか。また、参加したことがありますか。

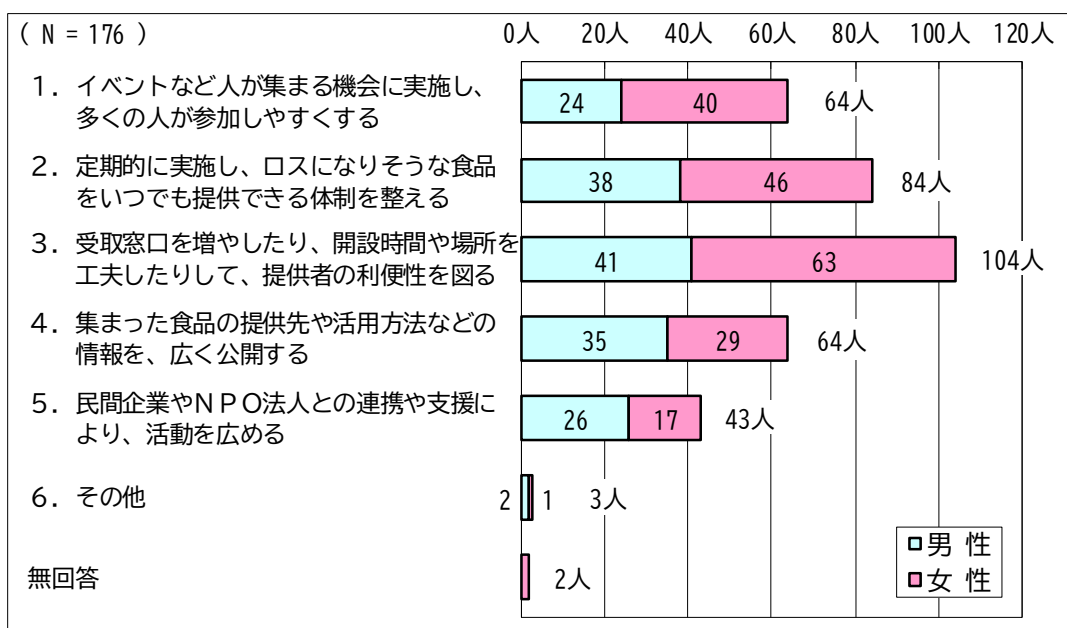
（※）フードバンク

各家庭や食品を取り扱う企業から、まだ安全に食べられるのに廃棄されてしまう食品を引き取り、福祉施設等へ無償で提供する団体・活動のこと。

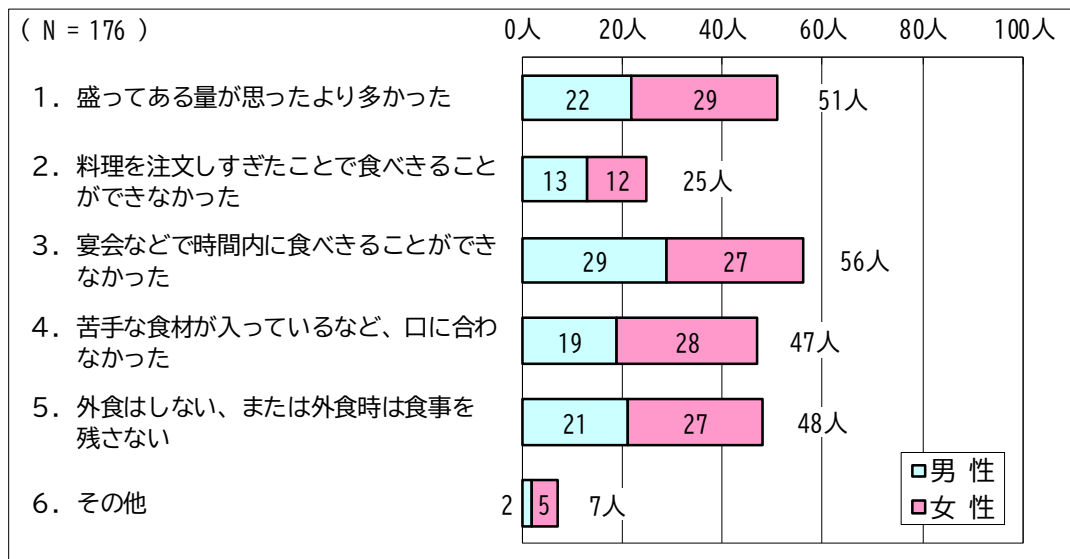


設問14：フードドライブの活動を活発にするためには、何が重要だと思いますか。

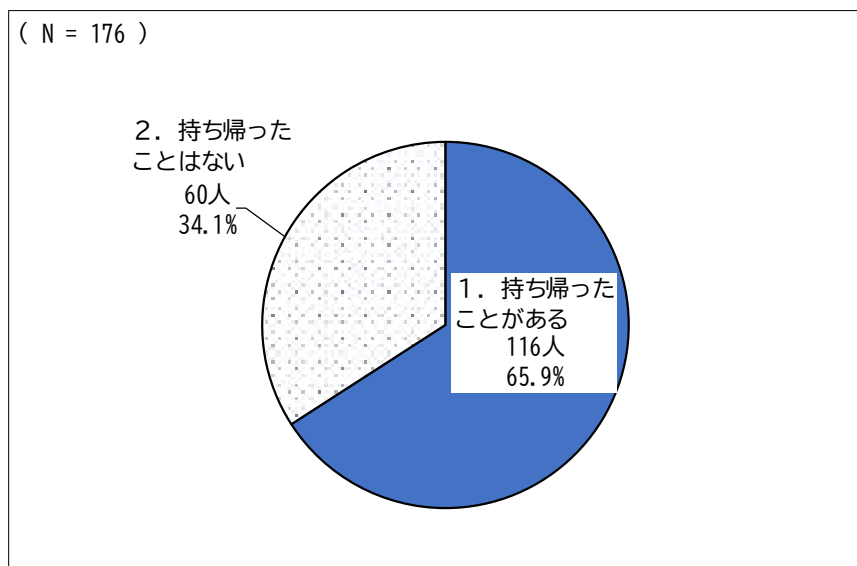
（複数回答可）



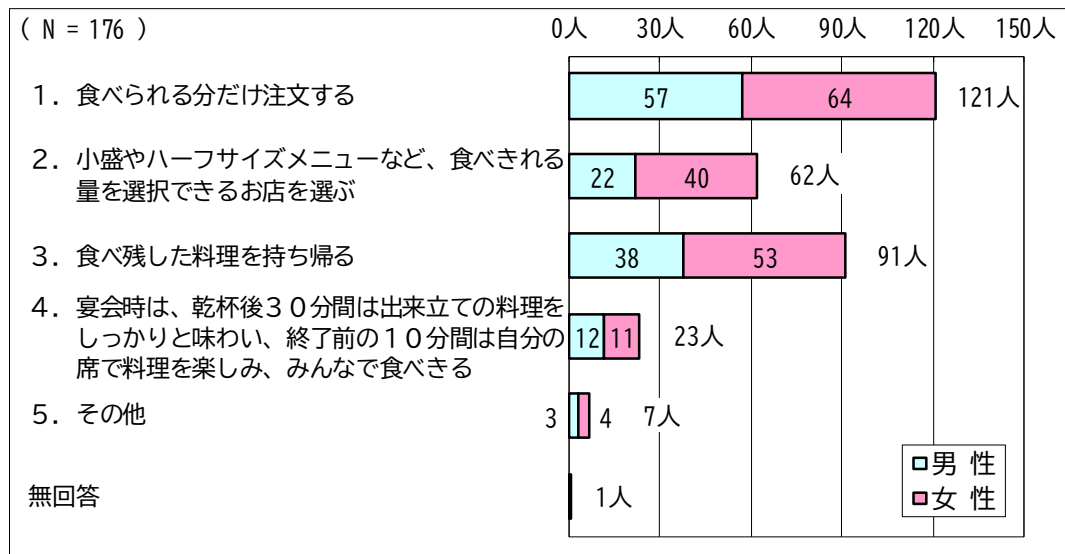
設問15： 外食時に、どのような理由で食品ロスが発生しますか。（複数回答可）



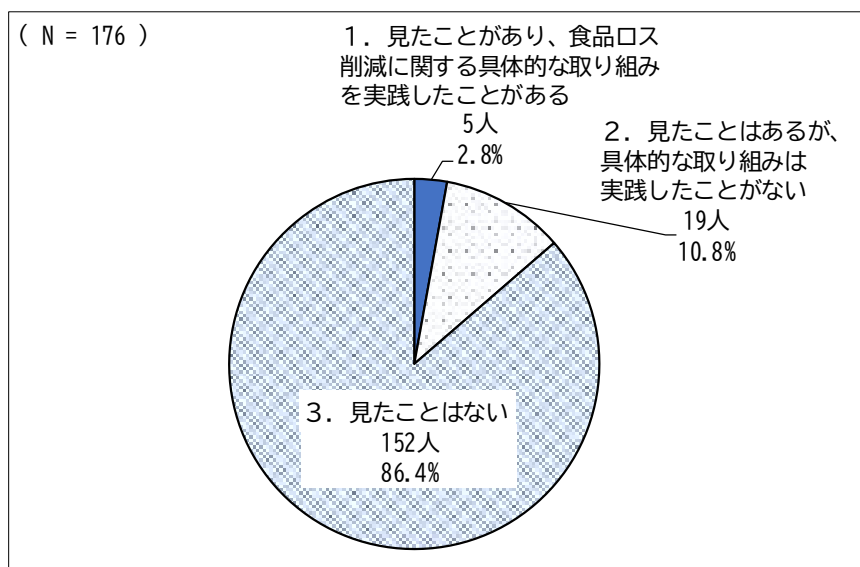
設問16： 外食時に食品ロスが発生した場合、食べきれなかったものを持ち帰ったことがありますか。



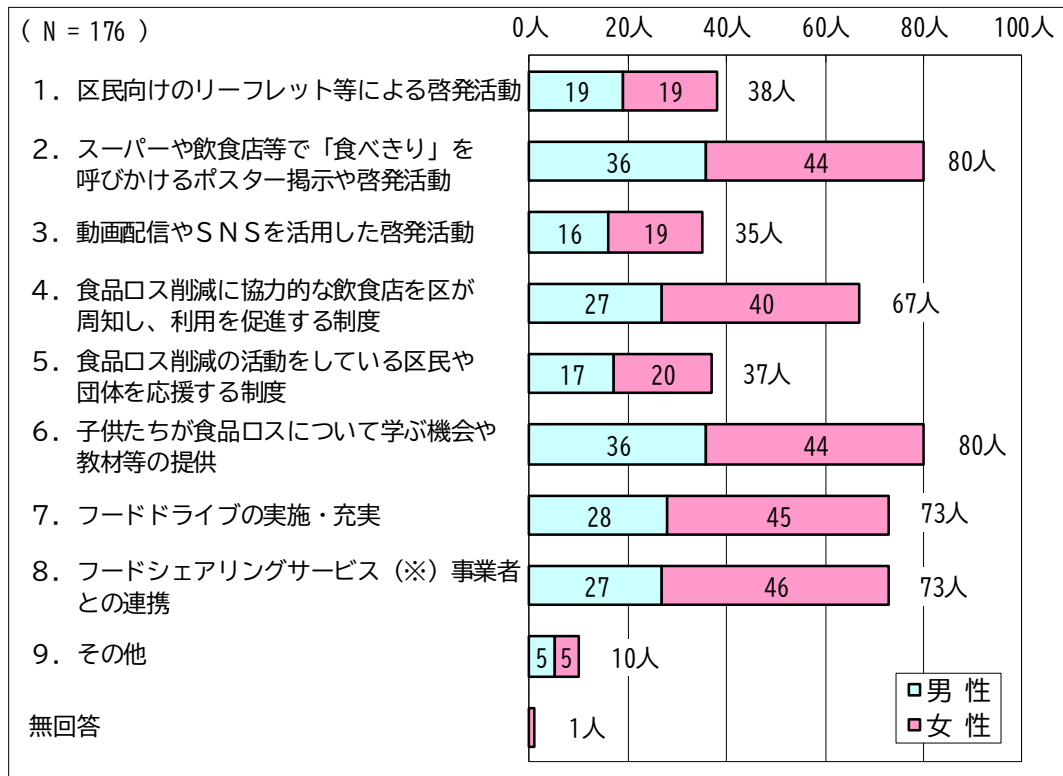
設問17： 外出時に食品ロスを発生させないためには、何が重要だと考えますか。
 (複数回答可)



設問18： 台東区では、「食品ロスがなくなって、作る人も食べる人も、みんなが幸せになれるように」という願いを込めて、毎月30日を「たいとう食ハピDay」としています。これに伴い、毎月食品ロス削減に関するおすすめの取組を広報たいとう・区ホームページ・SNS等で発信していますが、見たことはありますか。



設問19：食品ロス削減のため、今後、どのような取り組みが効果的だと思いますか。
(複数回答可)



(※) フードシェアリングサービス

飲食店等の廃棄直前の食品と消費者を、主にスマホのアプリでマッチングするサービスのこと。お店側は食品廃棄が減り、消費者側は通常より安い料金で飲食やテイクアウトができる。

設問20：食品ロス削減についてのアイデアや区の施策に対するご意見等がありましたら、ご記入ください。

(主なご意見)

- ・区として取り組んでいることを知らなかった。
- ・フードシェアリングサービスのアプリを登録し、定期的にチェックしている。個人的に食べ物を残すことが嫌なので、家庭でも出されたものは残さず食べると子供にも伝えている。食品ロスについて学べる機会がたくさんあれば良い。
- ・食べ放題のようにある一定量食べきれなかったら持ち帰りや廃棄料金がかかるなどを飲食店で導入することで、意識を変えることも必要かと思う。
- ・飲食店で食べきれない料理を持って帰れると良い。
- ・頂き物があっても家族が少ないと消化しきれないことがある。そのような時フードドライブを利用しているが、もう少し頻繁に実施してほしい。
- ・ごみ出しの有料化が効果的かと思う。
- ・スーパーに、少量の食品の取り扱いを増やすように啓発してほしい。飲食店ではメニューに小盛のある店が少ない。飲食店にも大盛の他に小盛の選択肢も入れるよう啓発してほしい。
- ・無駄なものは買わない、食べ物を大事にするという一人ひとりの心がけが何より重要だと思う。子供たちや区民にポスターや特別授業などで広く伝えていくことが大切だと思う。
- ・賞味期限を超えて現実的な期限と調理方法のガイド（例えば、「卵は生食の場合の期限だけど〇日以内なら加熱調理すれば問題ない」、や果物をジャムにする方法、冷凍物を美味しくまとめ調理するガイド等）があると良い。
- ・駅など普段立ち寄る場所に窓口があると利用しやすい。
- ・食べきれない分を持ち帰るシステムは、容器を持参すれば少し割安にしてくれるお店が増えると良い。
- ・フードシェアリングサービスに登録しているが、意外と身近に参加している店舗があることに驚いた。サービスの認知度が上がるだけでも効果があると思う。

- ・フードドライブよりも捨てた方が楽と考える人もいると思う。だからフードドライブへの協力者にメリットがあればいい。教育等によりロスを出さない意識づけが長期的には効果的だ。C t o C売買のシステムもあれば良い。

- ・スーパーなどでフードドライブの広告を出したら良いと思う。

- ・海外だと食べきれなかった分はテイクアウトできる文化が日本よりもあると感じる。テイクアウトする際の容器が無料だったり、店員に「テイクアウトされますか？」と聞かれたりすることもあるので、持ち帰りやすい環境にある。

- ・フードドライブの存在をもっと身近にしたら、廃棄ロスを減らせる気がする。

スーパーやコンビニで「前どり」の啓発を見かけるが、呼びかけだけではほとんど意味をなさないと思う。それよりも、実行した人にプラスになる施策をすべきだと思う。

- ・宴会のコース料理は残されることが多いので、飲食店にとって準備やコストなどを変えずにフードロスを減らす工夫をしているお店への支援をすると良い。

- ・買い物に行ったときにセールなどいつもより安く売っていることがあり、思わず買ってしまい冷蔵庫にいったまま忘れてしまっただけで食べられないこともあると思うので、定期的に冷蔵庫や乾物の整理をするように心掛ける。

- ・食料品の値上げにより家計における食費の割合は以前よりはるかに高くなり、生活が苦しくなっている区民も多くなっていると思う。食品ロスしないことがもっと評価されれば区民の意識も高まると思う。

- ・子供が余っている食料で何か食べられるものを作るクッキング教室を開催する。

【区議会だよりについて】

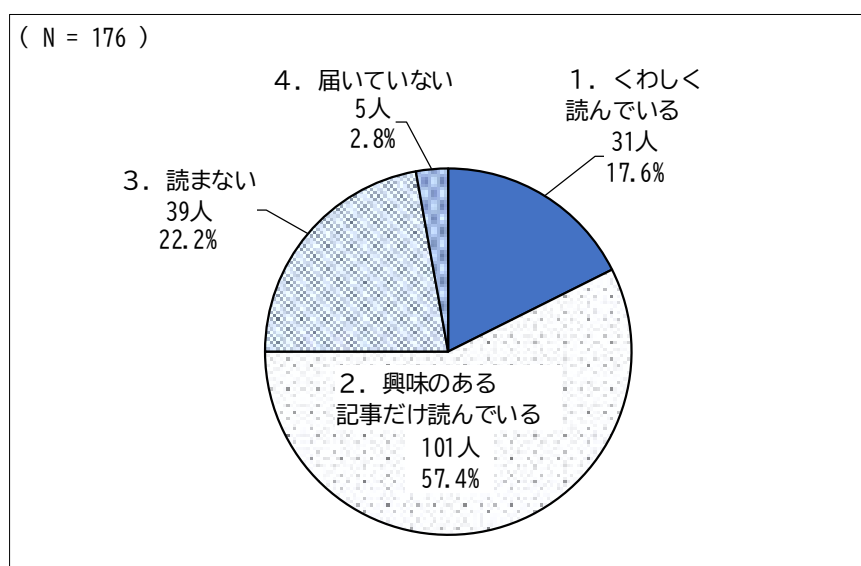
今回の調査では、「たいとう区議会だより」を7割以上の方が読んでいると回答され、約半数の方が読みやすいと回答されました。

一方で、約2割の方が読まないと回答されており、その主な理由として、「内容に関心を持たないから」「内容が専門的で分かりにくいから」「文字が多すぎるから」と回答されました。また、より多くの方に読んでもらうための工夫として、「文章をコンパクトに分かりやすくする」ことが必要と回答された方が最も多い結果となりました。

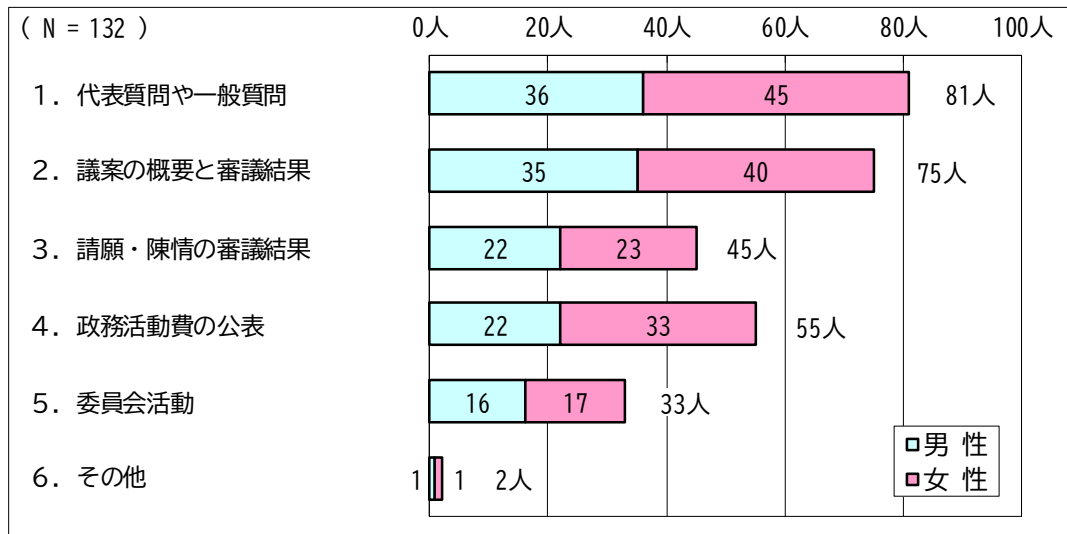
今回いただいたご意見を踏まえ、より多くの区民の皆様に、区議会の役割や活動について関心を持っていただけるよう、さらに分かりやすく読みやすい広報紙づくりに努めてまいります。

(議会事務局)

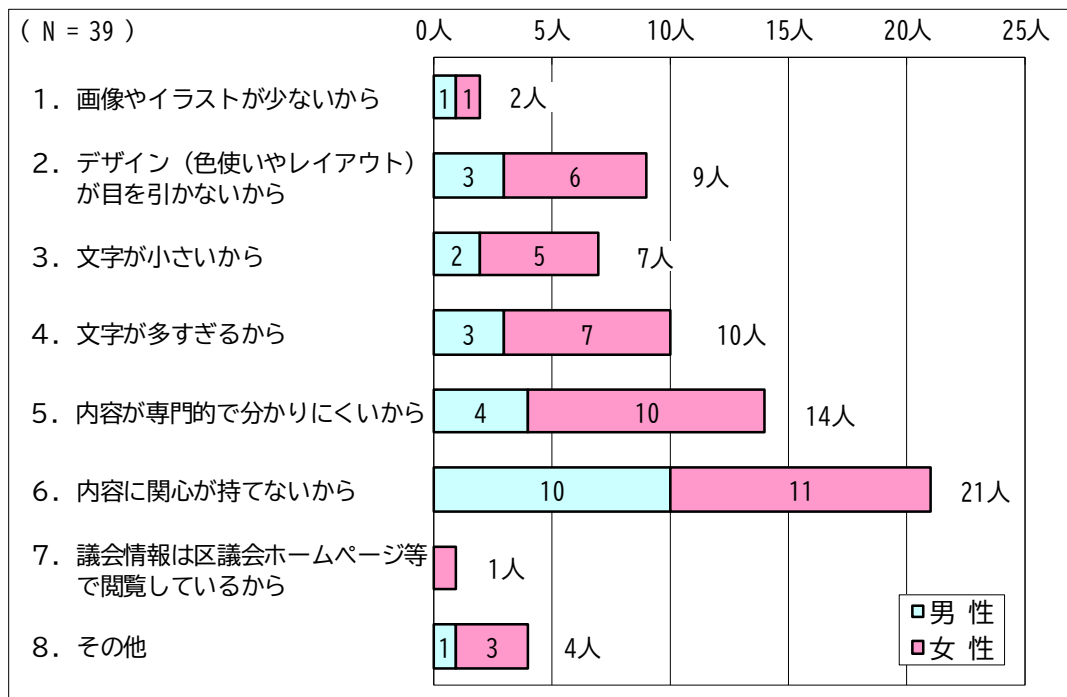
設問21：台東区議会では、「たいとう区議会だより」を年5回発行していますが、読んだことがありますか。



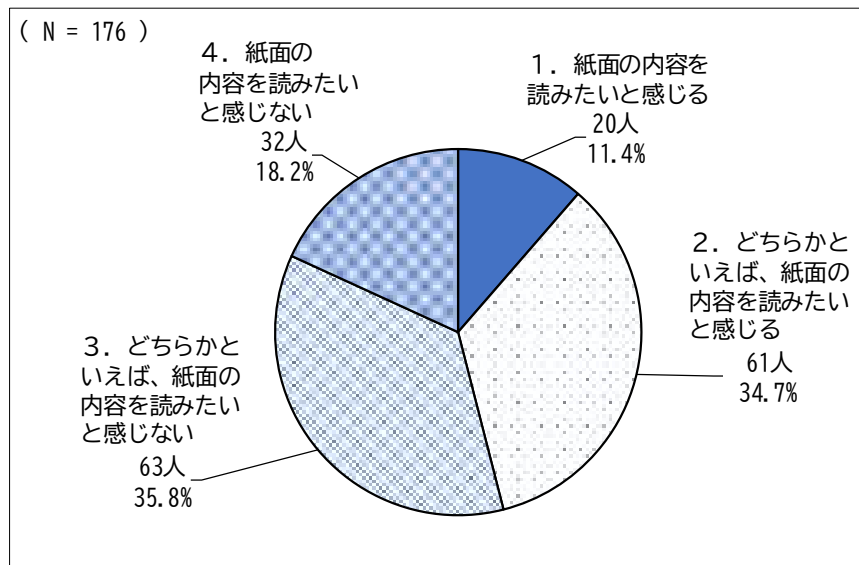
設問22：設問21で選択肢1、2を選択した方にお伺いします。
どの記事に興味がありますか。(複数回答可)



設問23：設問21で選択肢3「読まない」を選択した方にお伺いします。
その理由は何ですか。(複数回答可)

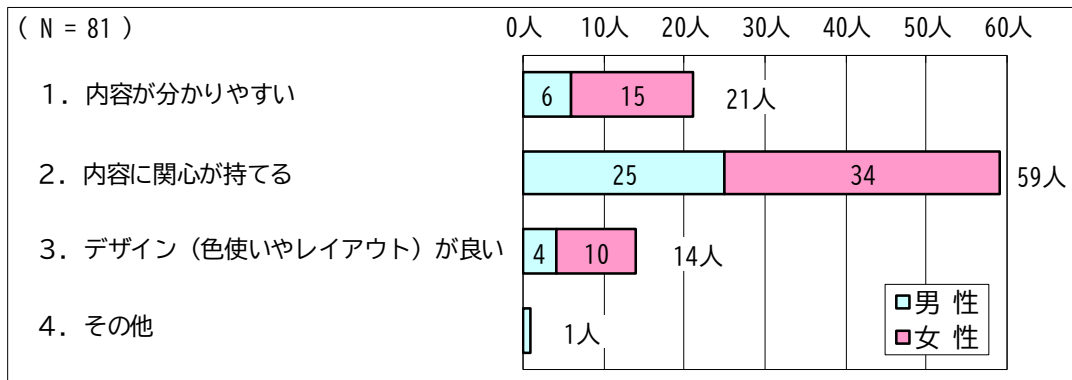


設問24：「たいとう区議会だより」の1面について、どのような印象を受けますか。

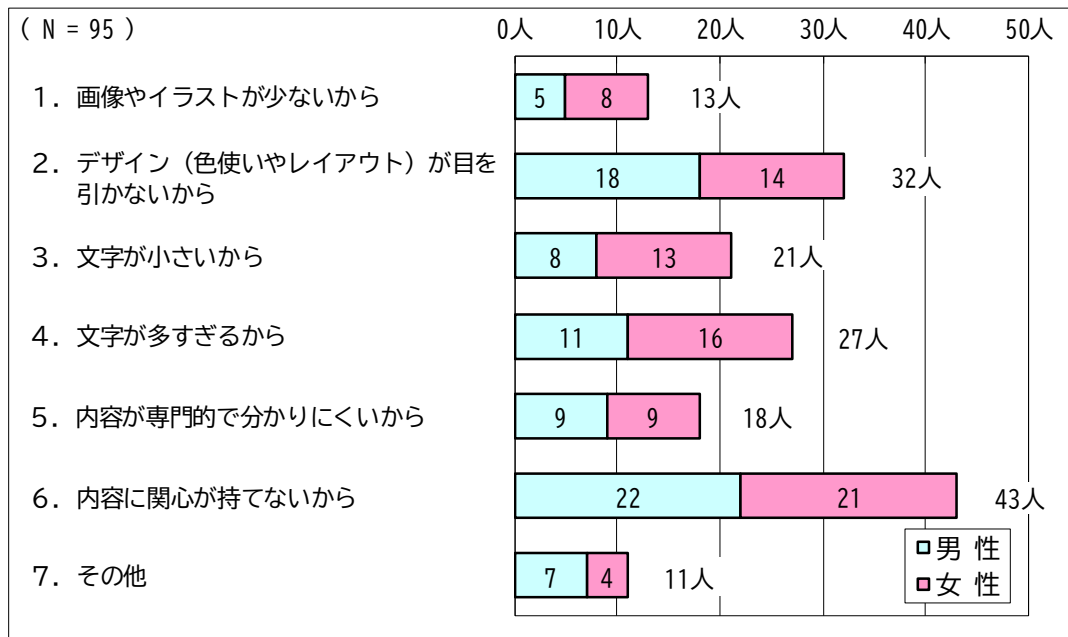


設問25：設問24で選択肢1、2を選択した方にお伺いします。

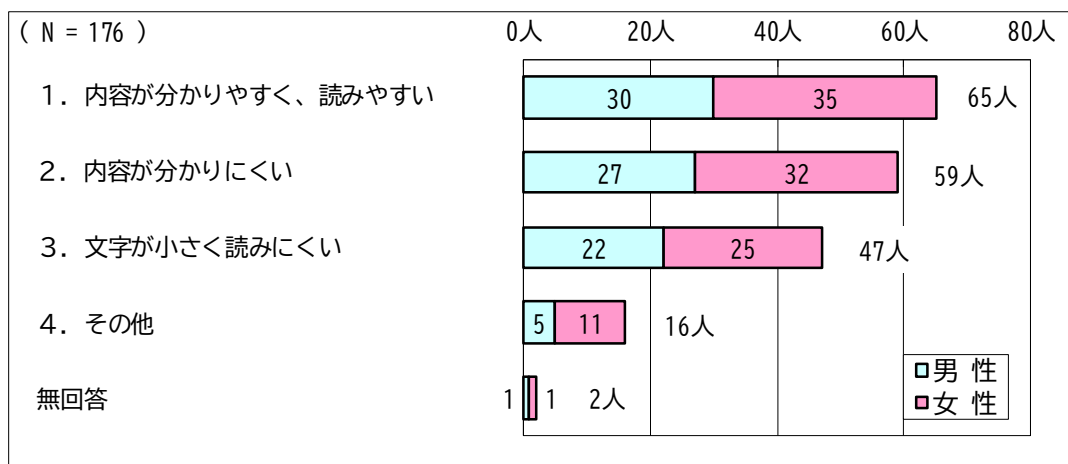
その理由は何ですか。(複数回答可)



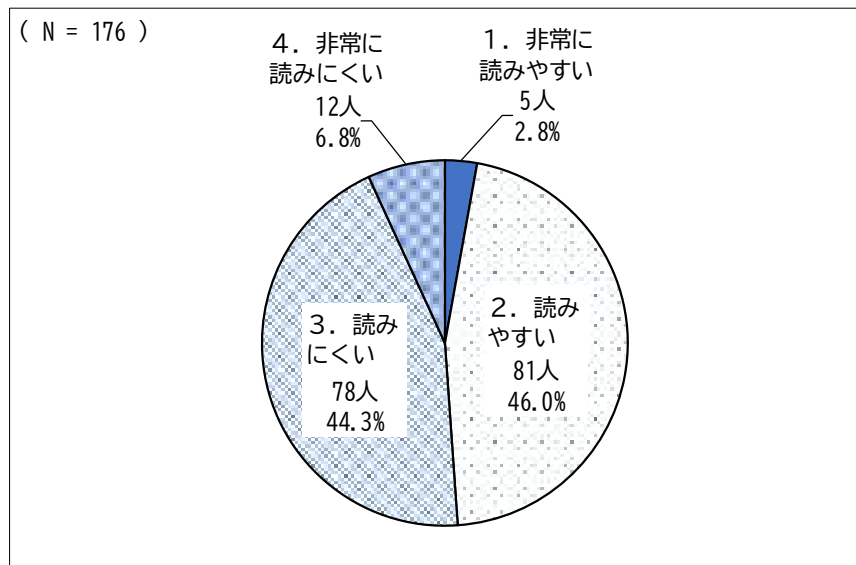
設問26：設問24で選択肢3、4を選択した方にお伺いします。
その理由は何ですか。（複数回答可）



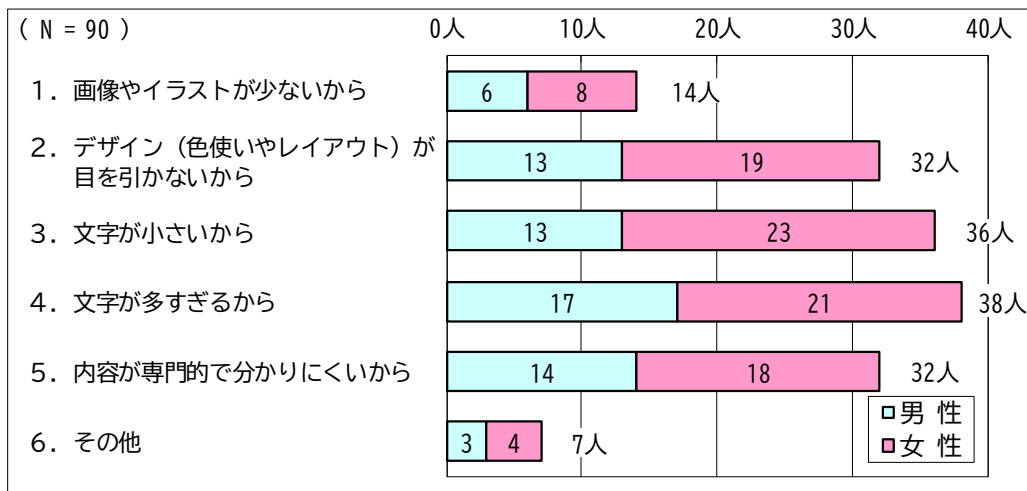
設問27：「たいとう区議会だより」の代表質問・一般質問の概要の記事について、どのような印象を受けますか。（複数回答可）



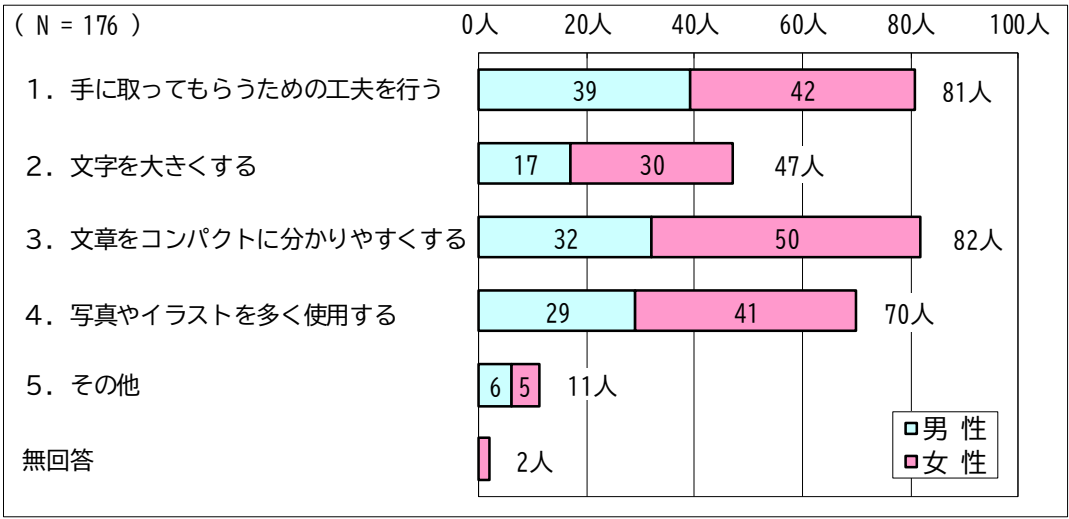
設問28：「たいとう区議会だより」の紙面全体について、読みやすいですか。



設問29：設問28で選択肢3、4を選択した方にお伺いします。
その理由は何ですか。(複数回答可)



設問30：より多くの方に「たいとう区議会だより」を読んでもらうには、どのような工夫が必要だと思いますか。（複数回答可）



設問31：「たいとう区議会だより」について、ご意見等がありましたらご記入ください。

(主なご意見)

- ・全体的に文字が小さく、文章も長いと思う。レイアウトを箇条書きにするなど、工夫したら良いと思う。長すぎる文章ははじめから読む気が起きない。
- ・興味はあるが読みにくいので、イラストや図形にしてビジュアルで見せていく方法を導入してほしい。
- ・「広報たいとう」を参考にしてもらいたい。「たいとう区議会だより」に関心を持ってもらうには、区民に議会のことを知ってもらうため、どこで、どんなことを実施しているのか、実際に見てもらう企画を考えてほしい。
- ・なかなか議会を見に行くことはできないが、区議会だよりのおかげで区政に関わることができているような気になり、ありがたい。
- ・文章が長くて多い印象で、さっと流し読みしてしまう。イラストや吹き出しを使用し、見やすくすると良いと思う。
- ・文章はコンパクトであればあるほど良い。写真やイラスト、図が多いと読みやすいと感じる。
- ・区議会だよりは区民が議会の動きを知る大切な情報源である。内容が充実している一方で、字が細かく文章量が多く、一般の区民には少し読みにくい印象である。図表等を増やし見出しを大きくするなど、より視覚的に理解しやすい紙面構成にしてほしい。
- ・情報量が多いため、字が小さくなるのは必然。表や図、イラストや写真で文字を減らし、興味を持ってもらえる表現を取り入れたほうが良いと思う。
- ・公平性や中立性に配慮した結果だとは思いますが、紙面構成が画一的なので、重要な議案が何か、それに対して個々の議員や区が何を話したのか、読み取りづらいと感じる。区政を知るための貴重な信頼できるメディアなので、引き続き発行してほしい。
- ・ほとんど読んでおらず、印象がないという方が多いと思うので、自分ごとに思えるよう見出しを工夫する必要があると思う。
- ・自分の住んでいる場所の課題等が分かる大切な情報源であるが、淡々と文字が列挙されているというイメージである。読みやすく工夫されると助かる。

- ・紙の質を新聞と同じようにしてほしい。紙質で広告誌のように思えてしまう。
- ・どのような政策論争があったのか、その背景知識も含めてコラム等で提示して、区政自体に興味関心を引き出す構成にすれば良いと思う。
- ・量が多いと読みきれないので、よりシンプルにまとめられているとありがたい。
- ・内容等に関わらず、地元の政治に興味のある方は読むし、興味のない方は読まない物だと思う。コスト削減の観点から紙を大量に刷るのではなくて、紙でほしい方は申込方式にし、ネットで公開していることをSNSなどで告知するだけで良いと思う。
- ・区議会だよりは、区議の活動を知る上でとても有効だと思う。区議会を傍聴しなくても大まかな内容が理解できるので今後も読みたいと思うが、会期中で一番問題となった議題も知らせてほしい。
- ・文字サイズの変更及び、イラスト・図面等の活用による簡素化を希望する。
- ・定例会と委員会活動の記事が多く、文字も小さくて読むのが大変である。
- ・時系列が分かりにくい。発行から手元に来るまでが遅い気がする。
- ・中学・高校生にも手に取って読ませるくらい、内容をやさしく、大衆的にしてほしい。

Ⅱ アンケート質問と回答

【こどもの権利について】

設問1: こどもは、生まれたときから幸せに健やかに育つために必要な「こどもの権利」を持っています。令和5年4月に施行された「こども基本法」においても、全てのこどもは個人として尊重され、その基本的人権が保障されると示されています。
あなたは「こどもの権利」について聞いたことがありますか。

1. 聞いたことがあります、内容もだいたい知っている	47人	26.7%
2. 聞いたことはあるが、内容はあまり知らない	93人	52.8%
3. 聞いたことはない	36人	20.5%
全体	176人	100.0%

設問2: 「こどもの権利」と聞いて、思い浮かべるイメージに近いものはどれですか。
(複数回答可)

1. 大人と同様に、一人の人間として尊重されること	123人	69.9%
2. 困ったときに助けを受けられ、安心して暮らせること	116人	65.9%
3. 教育を受け、学び、成長できること	154人	87.5%
4. 遊びや体験を通じて、のびのび育つこと	87人	49.4%
5. 自分の気持ちや考えを自由に表現できること	92人	52.3%
6. イメージが思い浮かばない、わからない	3人	1.7%
7. その他	0人	0.0%
全体	575人	

設問3: 1989年に国連で採択された「子どもの権利条約」では、以下の4つの権利が柱として掲げられています。
あなたは、これらの「こどもの権利」が日々の暮らしの中で守られていると感じますか。

1. 守られている	39人	22.2%
2. どちらかという、守られている	112人	63.6%
3. どちらかという、守られていない	22人	12.5%
4. 守られていない	3人	1.7%
全体	176人	100.0%

設問4: 日々の暮らしの中で、守られていないと感じる「こどもの権利」はどれですか。
(複数回答可)

1. 生きる権利…衣食住が満たされる、医療を受けられる等	29人	16.5%
2. 育つ権利…教育を受けられる、遊べる、休める等	34人	19.3%
3. 守られる権利…暴力や搾取、有害な労働から守られる等	67人	38.1%
4. 参加する権利…自由に意見を表せる、団体をつくれる等	57人	32.4%
5. 特になし	48人	27.3%
6. その他	3人	1.7%
無回答	1人	0.6%
全体	239人	

設問5: 「こどもの権利」を守るために、区はどのような施策に重点的に取り組むべきだと思いますか。（複数回答可）

1. こどもの意見表明や社会参画の機会の確保	47人	26.7%
2. こどもを犯罪や事故その他の危害から守るための取組	101人	57.4%
3. こども一人ひとりが自分らしく育ち、学べる環境づくり	69人	39.2%
4. 虐待、体罰、いじめ等の防止	115人	65.3%
5. こどもが安心して過ごせる居場所づくり	88人	50.0%
6. こどもが悩みや不安を気軽に相談しやすい環境づくり	96人	54.5%
7. 特になし	5人	2.8%
8. その他	7人	4.0%
全体	528人	

設問6: 区が「こどもの権利」を守るための施策を推進するうえで、参考とするべき意見について、特に重要だと思うものはどれですか。

1. こどもの意見	88人	50.0%
2. 保護者の意見	20人	11.4%
3. 保育・教育関係者の意見	35人	19.9%
4. 専門家の意見	30人	17.0%
5. その他	3人	1.7%
全体	176人	100.0%

設問7: 区では、全てのこどもがいきいきと自分らしく、安心して暮らすことができる地域社会の実現を目指して、「こどもの権利」を守るための条例づくりに取り組んでいます。「こどもの権利」の普及啓発や条例づくりについて、ご意見等がありましたらご記入ください。

【食品ロス削減について】

設問8: 「食品ロス」とは「まだ食べられるのに捨てられてしまう食品」のことです。日本では、年間464万トンもの食品ロスが発生しています。また、その約半分は家庭からの排出と推定されています。
あなたは食品ロス削減のための取り組みをしていますか。

1. 本格的に実践している	24人	13.6%
2. できる範囲で簡単なことは実践している	137人	77.8%
3. 実践していない	15人	8.5%
全体	176人	100.0%

設問9: 設問8で選択肢1、2を選択した方にお伺いします。
食品ロス削減のために、どのようなことを実践していますか。（複数回答可）

1. 調理の際に、野菜の皮などの食べられる部分はなるべく使うようにしている	68人	42.2%
2. 食べきれる量を考えて調理している	109人	67.7%
3. 家にある食材でご飯を作る日を決めるなど、食材を無駄にしない工夫をしている	81人	50.3%
4. 定期的に、家にある食材の賞味期限を確認している	79人	49.1%
5. 冷蔵庫の中身や家にある食材を確認してから買い物に行っている	77人	47.8%
6. 買い物では、必要なものを必要な量だけ買っている	84人	52.2%
7. 内容量が多い商品のほうが割安でも、使える量を考えて少量の商品を買っている	37人	23.0%
8. スーパーなどで買い物の際は、すぐに食べるものは棚の手前から取っている	44人	27.3%
9. 外食の際は、食べきれる量を注文している	84人	52.2%
10. 外食の際は、食べきれなかったものは、なるべく持ち帰っている	26人	16.1%
11. その他	4人	2.5%
全体	693人	

設問10: あなたのご家庭では、どのくらいの頻度で食品ロスが発生していますか。

1. ほぼ毎日	12人	6.8%
2. 週に数回程度	42人	23.9%
3. 月に数回程度	63人	35.8%
4. 年に数回程度	41人	23.3%
5. 全く発生しない	18人	10.2%
全体	176人	100.0%

設問11: 設問10で選択肢1～4を選択した方にお伺いします。
あなたのご家庭では、どのような理由で食品ロスが発生しますか。（複数回答可）

1. 消費期限または賞味期限切れ	94人	59.5%
2. 好き嫌いによる食べ残し	43人	27.2%
3. 料理の作りすぎ	28人	17.7%
4. 食材や食品、総菜等の買いすぎ	26人	16.5%
5. 1パック（販売単位）の量が多くて食べきれない・使いきれない	16人	10.1%
6. 野菜の葉や根などで本来は食べられる部分の廃棄	53人	33.5%
7. 自分の好みに合わないいただき物	29人	18.4%
8. その他	6人	3.8%
全体	295人	

設問12: 設問10で選択肢1～4を選択した方にお伺いします。
あなたのご家庭で、処分（廃棄）することが多い食品はどのような種類ですか。
（複数回答可）

1. 野菜、果物	95人	60.1%
2. 肉類	13人	8.2%
3. 魚介類	6人	3.8%
4. 日配品（日持ちのしない加工食品のことで、パン、乳製品、卵、豆腐、納豆、ハム、かまぼこなど）	42人	26.6%
5. 調味料	30人	19.0%
6. 保存食品（缶詰、瓶詰、非常食など）	18人	11.4%
7. 購入した総菜、お弁当	18人	11.4%
8. 家庭で調理した総菜など	31人	19.6%
9. その他	3人	1.9%
全体	256人	

設問13: フードドライブとは、各家庭で使いきれない未使用食品を持ち寄り、それらをまとめてフードバンク団体や、地域の福祉施設・団体などに寄贈する活動を言います。
あなたはフードドライブについて知っていましたか。また、参加したことがありますか。

1. 言葉も意味も知っており、参加したことがある	17人	9.7%
2. 言葉も意味も知っているが、参加したことはない	77人	43.8%
3. 言葉だけは知っているが、参加したことはない	41人	23.3%
4. 言葉も意味も知らず、参加したこともない	41人	23.3%
全体	176人	100.0%

設問14: フードドライブの活動を活発にするためには、何が重要だと思いますか。（複数回答可）

1. イベントなど人が集まる機会に実施し、多くの人が参加しやすくする	64人	36.4%
2. 定期的に実施し、ロスになりそうな食品をいつでも提供できる体制を整える	84人	47.7%
3. 受取窓口を増やしたり、開設時間や場所を工夫したりして、提供者の利便性を図る	104人	59.1%
4. 集まった食品の提供先や活用方法などの情報を、広く公開する	64人	36.4%
5. 民間企業やNPO法人との連携や支援により、活動を広める	43人	24.4%
6. その他	3人	1.7%
無回答	2人	1.1%
全体	364人	

設問15: 外食時に、どのような理由で食品ロスが発生しますか。（複数回答可）

1. 盛ってある量が思ったより多かった	51人	29.0%
2. 料理を注文しすぎたことで食べることができなかった	25人	14.2%
3. 宴会などで時間内に食べることができなかった	56人	31.8%
4. 苦手な食材が入っているなど、口に合わなかった	47人	26.7%
5. 外食はしない、または外食時は食事を残さない	48人	27.3%
6. その他	7人	4.0%
全体	234人	

設問16: 外食時に食品ロスが発生した場合、食べきれなかったものを持ち帰ったことがありますか。

1. 持ち帰ったことがある	116人	65.9%
2. 持ち帰ったことはない	60人	34.1%
全体	176人	100.0%

設問17: 外食時に食品ロスを発生させないためには、何が重要だと考えますか。（複数回答可）

1. 食べられる分だけ注文する	121人	68.8%
2. 小盛やハーフサイズメニューなど、食べきれる量を選択できるお店を選ぶ	62人	35.2%
3. 食べ残した料理を持ち帰る	91人	51.7%
4. 宴会時は、乾杯後30分間は出来立ての料理をしっかりと味わい、終了前の10分間は自分の席で料理を楽しみ、みんなで食べきる	23人	13.1%
5. その他	7人	4.0%
無回答	1人	0.6%
全体	305人	

設問18: 台東区では、「食品ロスがなくなって、作る人も食べる人も、みんなが幸せになれるように」という願いを込めて、毎月30日を「たいとう食ハピDay」としています。これに伴い、毎月食品ロス削減に関するおすすめの取組を広報たいとう・区ホームページ・SNS等で発信していますが、見たことはありますか。

1. 見たことがあり、食品ロス削減に関する具体的な取り組みを実践したことがある	5人	2.8%
2. 見たことはあるが、具体的な取り組みは実践したことがない	19人	10.8%
3. 見たことはない	152人	86.4%
全体	176人	100.0%

設問19: 食品ロス削減のため、今後、どのような取り組みが効果的だと思いますか。（複数回答可）

1. 区民向けのリーフレット等による啓発活動	38人	21.6%
2. スーパーや飲食店等で「食べきり」を呼びかけるポスター掲示や啓発活動	80人	45.5%
3. 動画配信やSNSを活用した啓発活動	35人	19.9%
4. 食品ロス削減に協力的な飲食店を区が周知し、利用を促進する制度	67人	38.1%
5. 食品ロス削減の活動をしている区民や団体を応援する制度	37人	21.0%
6. 子供たちが食品ロスについて学ぶ機会や教材等の提供	80人	45.5%
7. フードドライブの実施・充実	73人	41.5%
8. フードシェアリングサービス事業者との連携	73人	41.5%
9. その他	10人	5.7%
無回答	1人	0.6%
全体	494人	

設問20: 食品ロス削減についてのアイデアや区の施策に対するご意見等がありましたら、ご記入ください。

【区議会だよりについて】

設問21: 台東区議会では、「たいとう区議会だより」を年5回発行していますが、読んだことがありますか。

1. くわしく読んでいる	31人	17.6%
2. 興味のある記事だけ読んでいる	101人	57.4%
3. 読まない	39人	22.2%
4. 届いていない	5人	2.8%
全体	176人	100.0%

設問22: 設問21で選択肢1、2を選択した方にお伺いします。
どの記事に興味がありますか。（複数回答可）

1. 代表質問や一般質問	81人	61.4%
2. 議案の概要と審議結果	75人	56.8%
3. 請願・陳情の審議結果	45人	34.1%
4. 政務活動費の公表	55人	41.7%
5. 委員会活動	33人	25.0%
6. その他	2人	1.5%
全体	291人	

設問23: 設問21で選択肢3「読まない」を選択した方にお伺いします。
その理由は何ですか。（複数回答可）

1. 画像やイラストが少ないから	2人	5.1%
2. デザイン（色使いやレイアウト）が目を引きかないから	9人	23.1%
3. 文字が小さいから	7人	17.9%
4. 文字が多すぎるから	10人	25.6%
5. 内容が専門的で分かりにくいから	14人	35.9%
6. 内容に関心が持てないから	21人	53.8%
7. 議会情報は区議会ホームページ等で閲覧しているから	1人	2.6%
8. その他	4人	10.3%
全体	68人	

設問24: 「たいとう区議会だより」の1面について、どのような印象を受けますか。

1. 紙面の内容を読みたいと感じる	20人	11.4%
2. どちらかといえば、紙面の内容を読みたいと感じる	61人	34.7%
3. どちらかといえば、紙面の内容を読みたいと感じない	63人	35.8%
4. 紙面の内容を読みたいと感じない	32人	18.2%
全体	176人	100.0%

設問25: 設問24で選択肢1、2を選択した方にお伺いします。
その理由は何ですか。（複数回答可）

1. 内容が分かりやすい	21人	25.9%
2. 内容に関心が持てる	59人	72.8%
3. デザイン（色使いやレイアウト）が良い	14人	17.3%
4. その他	1人	1.2%
全体	95人	

設問26: 設問24で選択肢3、4を選択した方にお伺いします。
その理由は何ですか。（複数回答可）

1. 画像やイラストが少ないから	13人	13.7%
2. デザイン（色使いやレイアウト）が目を引きかないから	32人	33.7%
3. 文字が小さいから	21人	22.1%
4. 文字が多すぎるから	27人	28.4%
5. 内容が専門的で分かりにくいから	18人	18.9%
6. 内容に関心が持てないから	43人	45.3%
7. その他	11人	11.6%
全体	165人	

設問27: 「たいとう区議会だより」の代表質問・一般質問の概要の記事について、どのような印象を受けますか。（複数回答可）

1. 内容が分かりやすく、読みやすい	65人	36.9%
2. 内容が分かりにくい	59人	33.5%
3. 文字が小さく読みにくい	47人	26.7%
4. その他	16人	9.1%
無回答	2人	1.1%
全体	189人	

設問28: 「たいとう区議会だより」の紙面全体について、読みやすいですか。

1. 非常に読みやすい	5人	2.8%
2. 読みやすい	81人	46.0%
3. 読みにくい	78人	44.3%
4. 非常に読みにくい	12人	6.8%
全体	176人	100.0%

設問29: 設問28で選択肢3、4を選択した方にお伺いします。
その理由は何ですか。（複数回答可）

1. 画像やイラストが少ないから	14人	15.6%
2. デザイン（色使いやレイアウト）が目を引きかないから	32人	35.6%
3. 文字が小さいから	36人	40.0%
4. 文字が多すぎるから	38人	42.2%
5. 内容が専門的で分かりにくいから	32人	35.6%
6. その他	7人	7.8%
全体	159人	

設問30: より多くの方に「たいとう区議会だより」を読んでもらうには、どのような工夫が必要だと思いますか。（複数回答可）

1. 手に取ってもらうための工夫を行う	81人	46.0%
2. 文字を大きくする	47人	26.7%
3. 文章をコンパクトに分かりやすくする	82人	46.6%
4. 写真やイラストを多く使用する	70人	39.8%
5. その他	11人	6.3%
無回答	2人	1.1%
全体	293人	

設問31: 「たいとう区議会だより」について、ご意見等がありましたらご記入ください。

令和8年度 第2回
台東区区政サポーターアンケート調査報告書

編集・発行 令和8年9月
台東区総務部広報課
令和8年度登録第52号